

その1 ある日の街頭演説での出来事

先日、野田市の四つ角で街頭演説をしていたときの出来事です。

その四つ角では、住宅の内覧会の看板をもつたおじさんも同じように立っておられました。当方たった一人で演説をしていたものですから、すぐに親しくなりました。

実は、ということで、切り出されたお話は、とても深刻なものでした。

身障者手帳を見せながら、ここで炎天下の中を一日中立っていても、収入は5千円、しかも、交通費も昼食代も含めて、というお話でした。

そして、年齢は七十歳前後にお見受けしました。

この収入では、生活も大変だろうし、何よりも、私のような年齢の者でも、この炎天下に一日交差点で立っているのは容易ではないのにと、絶句してしまいました。改めて、政治の責任の重さに肅然とする思いででした。

街頭には、常に発見があります。

さいとう 健 プロフィール
昭和34年 6月14日東京生まれ(48歳)
昭和58年 通商産業省入省
平成4年 中小企業庁金融課
平成11年 通商産業大臣秘書官
平成15年 経済産業省電力基盤整備課
平成16年 埼玉県副知事
平成18年 衆議院千葉7区補選にて惜敗
(955票差)

さいとう 健 後援会事務所

流山市市野谷 665-40-103
TEL:04-7157-6223 FAX:04-7157-6224

<http://www.saito-ken.jp>

さいとう健は、直接皆様とお話をすることを基本姿勢にしています。

サークルの会合、ミニ集会等…
小さな集まりでも結構ですので、是非お気軽にお声掛け下さい。



その2 廉油から石鹼

先日、流山市で行われた環境活動に参加しました。

てんぷら油などの廃油に苛性ソーダを入れて、石鹼を作るやり方を教えていただきました。

熱心に学ぶ主婦の方々の姿勢に心打たれました。

確かに、廃油をそのまま流してしまうことには、抵抗がありましたが、どうしてらしいのかなかなかわからないのが実際のことです。

こういう講習会で石鹼の作り方を習えば、自分でもやれますよね。一石二鳥です。



最後は型に流し込む作業。一ヶ月後に完成！

地球を大切にする、その心をもち実践する方々が一人でも多くなることを願っています。私自身も、普段の生活を見直して、小さなことから取り組んでみたいと思います。